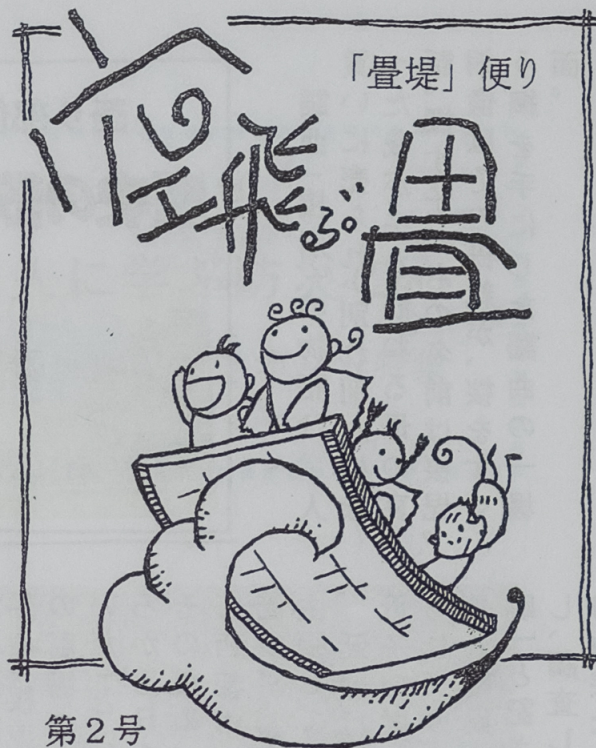


「畳堤ものがたり展」が、
去る9月7日から26日
まで開催されました。前回
の虎屋ギャラリー開催展
示につき二弾目。今回は防
災の日にちなんで「郷土の
ました。

畳堤ものがたり展

——先人に学ぶ防災の心——延岡図書館



発行 五ヶ瀬川の畳堤を守る会
編集 西本師子
住所 延岡市北町1-14
電話 0982-32-2226
FAX-0982-32-2229

内容紹介

河川整備が整わなかった時代、昭和初期の堤防の治水施設「畳堤」が、延岡図書館の館内ではじめて一般公開されました。主催は五ヶ瀬川の畳堤を守る会、延岡市教育委員会、図書館、文化課。協賛は国土交通省延岡河川国道事務所。

会場では静かに読書をしていただくため、解説などはありませんが、そのかわり模型や「いつ、どこで、なんのために、誰が」という問いかけと回答形式の展示パネルや写真でわかりやすく紹介しました。お蔭で、読書に訪れた多くの方々が見てくださいました。

また、畳堤の杵と畳のミニ版模型が人気でした。また、協賛の延岡河川国道事務所の提供として、平成5年の台風7号、平成9年の台風19号、平成16年の台風16号が写真やパネルで展示され、見学の皆さんの大きな反響を呼びました。

一木一章

ちよつと素敵な話

手旗信号という方法をどれだけの若者が知っているだろうか。手に旗を持ち、定められた形に振り動かすことで、遠い相手にも信号を送ることが出来る通信手段だ。現代でも場合によっては立派に役立つ。文化の日の三日に開催された「カルチャーゾーンフェスタ」の催しの一環として、手旗信号の体験指導があつて、旗人が懐かしそうに、こんな話をしてくれました。「私の女学校の頃は、男子生徒と顔を合わせることも禁じられていた時代。でも、たった一つだけ手段があつたの。それは手旗信号。これで互いに思いを伝えあつたものよ。目立たないように指信号でね」今なら携帯電話やメールであつという間に届くのに、とは誰しも思うこと。でも、胸のときめきは、苦心して交信する指信号にはきつとかなわないだろう。N記

豊堤ものがたり展

先人に学ぶ防災の心

延岡図書館展示フオット特集

中央公論

12月号

「探訪日本の川」に豊堤

流域に残る先人の知恵として豊堤が中央公論2004年12月号で紹介されています。探訪「日本の川」の五ヶ瀬川編で、内容は地図や五ヶ瀬川の豊堤を守る会提供の作業想像図などを入れ、会長の西本が語る川への思いや豊堤の発想についての感想を中心に構成されています。全4ページ。北川にある霞堤（かすみ、てい）も紹介されていますが、



ガールスカウトのみなさん



若い人も興味深かそうに見学



模型の前の櫻井市長

これも先人の知恵から生まれたものです。霞堤は、堤防を意図的に不連続に作り、氾濫した水を導く伝統工法で、現在も活用されています。

また、五ヶ瀬川水系が、美しく紹介されています。

豊堤のある川沿いを九州一周浪漫ウォーク

歩いて九州を一周する「九州一周浪漫ウォーク」県大会が十一月三十日、延岡市であり、県外、市外、市内の参加者約80人が五ヶ瀬川と大瀬川沿10キロを元気にウォーク。

題して「リバーウォーク」。「豊堤沿い」(写真)もコースの一つになり、参加者の話題をよびました。



(写真提供はデイリー新聞社)

内藤記念館に佇む「桜児の碑」

世阿弥作「謡曲 桜川」に由来

城下町延岡にあった桜川や桜の馬場

延岡市天神小路の内藤記念館敷地内に桜児（さくらこ）の碑（謡曲 桜川由来）と桜児母像の銅像が佇んでいます。

語り部便り 歴史の散歩道



謡曲「桜川」の物語は、人買いに売られ、別れ別れになった我が子を訪ねる母の哀話。探す子どもの名前は桜児。銅像はその母親が、桜をすくう網を手にした謡曲の一場面。

碑は、もと桜小路の堤防の内側、大きな楠の下に建っていました。が後年ここに移したものです。それに「内藤政孝など謡曲同好会」と刻まれており、碑文の中に「天保十年巳亥天野子育、同僚芳賀年氏と相識した」とあり、かなり古いものと推定されます。この物語は世阿弥の作で謡曲「桜児」の中に「日向の桜の馬場の西に貧しく住んでいた」という下りがあると、ころから日向説になったもの。そのため、県内で延岡を入れて西都市と宮崎群木花の三箇所が、桜児母子の郷里説を主張しています。

延岡は、天神小路に桜児母子の宅地跡があると伝えられています。飢肥の漢学者、長倉鶴巢の文章に「桜児の宅跡」と記されています。しかし、調査した郷土歴史家の松田仙峽氏は「頼まれて書いた

のではないかと」と長倉説を疑っています。

延岡は、お城の堀が巡りそこが川になっていました。その一つが桜川。今の本小路四倉齒科医院の南で、大瀬川へ抜けていました。桜橋が架けられており、また、近くに桜の馬場跡もありました。今も桜小路の地名が残っています。

松田仙峽著「延岡の文学散歩」（夕刊ポケット新聞）を参考にしました。



内藤記念館の桜児の母像
（平成16年11月撮影）

五ヶ瀬川の豊堤を守る会

入会、支援のお誘いとお願ひ

豊堤は、延岡の街の中に現存している、昔の治水施設ですが、豊を使う奇想天外な発想には、どこか心の豊かさを感じます。

守る会は、こうした先人の知恵に学び、郷土愛や市民が手をつなぐ心を大切にしようと、発足したものです。

入会の場合

入会費Ⅱ一口10000円（年会費含む）

支援してください方

援助支援金Ⅱ一口10000円

いずれかを希望の方は、郵便振替用紙を送付いたします。

連絡

五ヶ瀬川の「豊堤」を守る会

会長 西本師子

〒882-8024

電話 0982-322226

FAX 0982-322229

住所 延岡市北町1の14

みんなのページ

虎屋ギャラリーにて

児島タキエさん(富美山町)
素晴らしい催しでございま
す。畳堤については、西本さ
んに教えられてはじめて知り
ました。先人の知恵はすごい
ですね。

時代と共に忘れ去られる
ことは大変残念なことです。
こうした素晴らしい財産は後
世に伝えることが大切です。
今後もうぞ長く、語り継
がれる事を願いたいと思いま
す。

林田照子さん(大貫町)
川の多い延岡で、静かな時
は水郷として親しまれていま
すが、一旦暴れだすと市民は
恐怖に襲われたことでしょう。
水と共に生きる智恵でこの畳
堤が生まれたことは、水害に
くじけなかった証です。文化
を高める堤があったことを掘
り起こしてくださってありが
たいと思います。

高木富美子さん(出北)
身近に起きる災害が時間
と共に遠い記憶として心
に残っているものですが。
写真を通すとわかりやす
く、その時の大変さが手に
とるように伝わってきま
す。今は子どもも親も知ら
ない事を本や展示を通し
て教えていただいている
気がします。ありがとうございます。

藤田ゆかりさん(石田町)
畳を使う方法が家で使う
外にあったなんて知りませ
んでした。こういう事は学校
でも教えていただくとありが
たいと思います。

図書館より

林田正一郎(船倉町)
私は船倉に生まれたので、
畳堤のことを懐かしく思
いました。水害の恐ろしさ

をもう一度考えて見るべきで
す。

係りでは読者のみなさ
んのご意見をお待ちして
います。
畳堤以外の内容でも結
構です。

五ヶ瀬川の畳堤を守る会

過去の台風記録

街が濁流にのまれた日 ①

平成5年(1993) 台風7号

8月8日の夕方、河川が増水を始め、10日午後5時、6時にピークに達しました。計画水位を五ヶ瀬川の松山で0.06m、大瀬川で0.18mを越え、北川では熊田で警戒水位2.13m、祝子で1.47mを越え、五ヶ瀬川は過去、最高の水位を記録しました。写真は当時の北川、五ヶ瀬川(下)

(資料、写真は延岡河川国道事務所提供)

